

# 言葉で遊び、虚構の物語づくりを楽しむ授業研究

## ―田丸式メソッドによるショートショート創作を通して―

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（国語）

夏目 真希

本研究では、小学校国語教育における物語創作の指導法を探求し、特に「書くこと」に苦手意識を持つ児童が楽しく取り組める授業づくりを目指した。

学習指導要領の改訂に伴い、近年の教科書からは物語創作の単元が減少し、児童の創作意欲が低下している現状がある。本研究ではショートショート作家・田丸雅智氏の「田丸式メソッド」を活用した。連想した単語を組み合わせでできる「不思議な言葉」を発想の起点として、物語を創作する手法を取り入れた。また、児童が物語の構成を理解しやすくするために、宮沢賢治「注文の多い料理店」を教材とし、その表現の工夫やオチを学んだ後、物語創作へと展開した。

実践の結果、児童の多くが創作活動に積極的に取り組み、苦手意識の改善や書き手意識の向上が見られた。またICTの活用により、児童の負担を軽減する効果も確認された。今後の課題として、さらなる創作支援の工夫や、多様なストーリー構成の提示が挙げられる。